

## 令和5年11月定例教育委員会 会議録

1 日 時 令和5年11月29日(水) 開会15時 閉会16時

2 場 所 福井市役所8階第3委員会室

3 出席者 教育長 吉川 雄二  
教育長職務代理者 春木 伸一  
教育委員 多田 和博  
教育委員 宮郷 美千代  
教育委員 栗原 知子

### <事務局職員>

教育部長 林 俊宏  
少年対策参事官 前田 俊行  
教育次長 小倉 敏之  
図書館統括館長 西行 裕  
教育総務課長 諏訪 光宏  
学校教育課長 酒井 睦夫  
保健給食課長 木下 武明  
生涯学習課長 高比良 博則  
青少年課長 橋詰 正弘  
スポーツ課長 塩見 伸治  
文化財保護課長 渡邊 貴美  
図書館長 中野 裕三  
みどり図書館長 井土 博之  
桜木図書館長 嶋津 康弘  
調整参事 新井 敏男  
教育総務課 副課長 山田 治  
教育総務課 課長補佐 槇野 克典  
教育総務課 主幹 内田 佳邦

## 4 議 題

### 報 告

(1) 12月定例市議会の報告について

## 5 議事の経過

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 会議録署名委員の指名 多田 委員 栗原 委員

(4) 議事の要旨

教育長

それでは、報告（１）１２月定例市議会の報告について、事務局から説明を求めらる。

事務局  
（教育部長）

１２月定例市議会の報告について、会期は１１月６日から１１月２２日までの１７日間であった。

教育委員会関係で今回提出した議案は７件あり、１０月定例教育委員会においてご承認いただいた案件がある。

「第１１２号議案 令和５年度一般会計補正予算」は、原油価格や電気・ガス料金等の高騰による、小中学校施設の光熱費の不足に対応する補正予算で、小学校費約５，０５３万円の増額、中学校費約４，０７６万円の増額である。加えて、令和６年度から１０年度まで５年間の福井市児童館２５館の指定管理者の管理運営費、８億７，４７５万円の債務負担行為を含んでいる。

「第１１９号議案 福井市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について」は、福井市立図書館のリニューアルに伴い、新たに併設する福井市地域交流センターの名称や利用料金について、新たに条例を定めるものである。

「第１２２号議案 福井市学校設置条例の一部改正について」は、学校規模適正化の推進にあたり、殿下中学校の廃校に伴う、条例の一部改正である。

「第１２３号議案 福井市学校給食センター設置条例の一部改正について」は、新「福井市学校給食センター」の名称等を定めるもので、併せて、現在の「福井市北部学校給食センター」並びに「福井市南部学校給食センター」の機能廃止を含めた条例の一部改正である。

「第１２４号議案 福井市体育施設条例の一部改正について」は、福井市フットボールセンターの令和６年３月からの供用開始に伴い、施設名称及び使用料等を定めるほか、使用料の見直し等を含めた条例の一部改正である。

「第１２８号議案 福井市の児童館の指定管理者の指定について」は、先ほどご説明した、福井市児童館の指定管理者の指定に関するものである。

その他、教育委員会の関連で提出された議案「第１２９号議案 教育委員会委員の任命について」において、宮郷委員の再任が承認された。２期目となる。

いずれの議案も、１１月２２日の議会最終日に、原案どおり可決された。

次に、１１月１３日から１５日に行われた一般質問では、教育に関して１０名の議員より質問や要望があった。主なものとしては「学校施設の修繕や改修」「中学校部活動の地域移行」「ふくい桜マラソン」についての質問があり、その他の質問も含め別冊の資料のとおり答弁している。

以上、１２月定例市議会の報告について、説明を終了する。

教育長

今ほど説明にもあったが、１２月１７日に任期を迎える宮郷委員が市議会で再任の承認を受けたので、後ほど宮郷委員より一言ご挨拶をお願いしたい。

ただ今の説明について、ご質問等はないか。

多田委員

何名かの議員が質問している部活動の地域移行について、新聞等にも取り上げられ、市の明確なビジョンが見えないとも書かれていた。今後、総合教育会議等で取

り決めていくのかもしれないが、他市町のビジョンを紹介していただけるとありがたい。とある市は、令和8年度までに部活動を廃止して地域移行すると聞いたが、そんなことが福井市でも可能か。

事務局  
(保健給食課長)

ビジョンについて、国は当初、令和5年から7年を移行の「集中期間」としていたが、昨年度からは「推進期間」とややトーンダウンしてきている。しかし、県や市は部活動の地域移行を進めていきたいと考えている。

先行する市町では、地域移行の期限を定めて、それ以降は休日の部活動をしないこととしている。その代わりに、地域で活動している団体に、中学生が参加していく方向で進めている。地域の活動に参加する際の費用等に関しては、基本的に受益者負担となっている。

市としても、このような状況を踏まえて検討する岐路にあると考えている。

教育長

市のビジョンが無い訳ではないが、12月の市長選を控え、公表のタイミングを見計らっている状況である。市長選後にできるだけ早く総合教育会議を開催し、本市としての方向性を決めていきたい。

市町教育長会議でも、県内の各教育長と歩調を合わせ、令和8年度から休日については中学校の部活動を地域へ移行していく話で統一している。ただし、そこまでの道のりは市町ごとに異なるのが現状である。

福井市は東西に広く、学校数や生徒数も多いため、教育委員会が一つにまとめることは難しい。そのため、各地域で活動している団体に中学生が参加する方向で、市長部局も交えて協議会を立ち上げ、検討しているところである。

多田委員

下畑議員の質問タイトルに「福井市デジタル田園都市構想総合戦略について」とあるが、質問内容と答えが合致しないように感じる。

教育長

福井市デジタル田園都市構想総合戦略には多くの項目があり、子育ての一つとして給食の安定した提供について質問されたため、タイトルから乖離している。

事務局  
(教育部長)

福井市デジタル田園都市構想総合戦略に人口減少対策があり、出生率の改善や移住定住、子育て環境の充実など複数の柱で構成されている。その中の子育て環境の一つとして給食が含まれている。

教育長

他になければ、宮郷委員より一言ご挨拶をお願いします。

— 宮郷委員あいさつ —

教育長

予定していた審議事項は以上だが、その他あれば、事務局から説明を求める。

事務局  
(学校教育課長)

令和6年度の入学式について、通常は4月8日(月)だが、県立高校の入学式と重なるため、小中学校の入学式を4月9日(火)とする。

事務局  
(スポーツ課長)

フットボールセンターの落成式について、既にご案内のとおり、12月18日の14時から開催するので、委員みなさまの出席をお願いする。

事務局  
(保健給食課)

中学校の部活動の地域移行について、昨年度は剣道部をモデル事業として、検証を進めてきた。平成25年度には800あった県内の部活動も、子どもの減少と共に、令和5年度には713まで減少している。福井市では、平成25年度に252あった部活動が令和5年度には224と、1割ほど減少している。

令和5年度から7年度までの地域移行の集中期間に、県内の市町も着実に地域移行を進めているのが現状である。(他市町の事例を紹介)

部活動には、もちろん文化部も含まれるので、県の吹奏楽部の連盟等とも協議を進めていく予定である。

また、地域団体には「学校の部活動をそのまま地域に渡される」というイメージを持たれているようで、その都度「休日のみ、学校の部活動から切り離して、地域の新しい活動として参加させてほしい」と説明している。

地域移行を進めるために、スポーツ課や文化振興課などの関係部署や各種団体を集めて地域クラブ活動推進協議会を立ち上げ、検討を重ねていきたい。その上で、1月の総合教育会議で方向性を示していきたいと考えている。

教育長

詳細は、総合教育会議で協議することになると思うが、令和8年度に休日は部活動を行わないとした時、保護者へ説明できるよう、しっかり準備していきたい。

その他の説明について、ご質問等はないか。

栗原委員

休日の部活動がなくなり地域に移行されると、自分で活動を選択することになると思う。受益者負担の原則から、特に困窮家庭の負担が増えることになるが、何か支援はあるか。

教育長

学校の部活動ではスポーツに参加し、休日の地域活動では文化活動に参加することも自由である。

国の支援は、要望はしているが、まだこれからの話になる。どこまで対象とするかは、それぞれの市の判断となる。

栗原委員

週休二日制が導入された際も、子どもがだらけてしまうというような指摘があったが、学校から何か指摘はあったのか。

教育長

学校の現場としては、休日の部活動は止めたいというのがほとんどである。また、休日に先生が地域で活動する場合は、兼職兼業が問題となってくる。県は、その活動が80時間を超える場合は認めないというスタンスである。

宮郷委員

自分の子どもが中学生の時、スイミングスクールに通っていた。その際は、中体連には学校名で参加していたが、地域移行後はどうなるのか。

事務局 (教育部長)	学校名を背負って参加するということはなくなる。今は、スイミングスクールの名前でも参加できる。
教育長	中体連を、上位大会への選考会とすることも改めて考えなければならない。
宮郷委員	休日の部活動を止めてしまうと、高校の競技人口の減少につながらないか。
教育長	案として、野球やサッカー等は私立中学校の部活動に参加する方法もある。ボクシング等、中学校の部活動がない場合は、小学校から地域で継続して活動が可能となるメリットもある。詳細は、総合教育会議で協議したい。 他になれば、最後に事務局から次回の日程について願います。
事務局	次回の定例教育委員会について、12月20日(水)16時から、場所は福井市役所8階第3委員会室にて開催するので、ご出席いただきたい。
教育長	以上をもって会議を終了する。

令和5年12月18日

署名委員 多田 和博

署名委員 栗原 知子

会議録作成職員 内田 佳邦